

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 し尿処理業務（し尿処理・収集量）
-------------------	-------------------------------

区分	番号	名 称						
章	2	自然とともに暮らすまち						
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる						
施策	3	生活排水の適正な処理						
小分類	3	し尿の適正処理						
主要な施策	1	し尿処理施設の整備						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">事務事業コード</td> <td>21331002</td> <td style="background-color: #f2f2f2;">事業開始年度</td> <td>平成 2 年度</td> <td style="background-color: #f2f2f2;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	21331002	事業開始年度	平成 2 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	21331002	事業開始年度	平成 2 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	し尿収集業務委託料
------	------	------------	-----------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策 G
-----	-------	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> し尿を適正に収集、処理することにより、市民の生活環境を清潔にするとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> し尿の収集体制の適正化を図るとともに、かつ、し尿処理施設の効率的な維持管理を推進する。
成果	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 良好な生活環境の保全と市民生活の向上を図ることに貢献できるとともに、し尿収集体制の維持及び施設の適正な運営が可能となる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	し尿収集量 （目標値はH19～H21年度実績の 平均減少率から算出）	キロリット	目標値	7,368	6,705	6,102	5,552	5,052
			実績値	7,173				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円	41,645	39,193	36,652	36,652	36,652	109,956
	一般財源 名称	千円	44,805	51,046	54,873	54,873	54,873	164,619
合 計			86,450	90,239	91,525	91,525	91,525	274,575
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	6,714	6,816			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	499	587			
		合 計		7,213	7,403			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなるに限り、必要なため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 民間委託により効率的かつ適切な収集運搬が実施されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 良好な生活環境を維持するため、現在、効率的かつ適切に収集運搬することが出来ている。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 現在、常に収集方法等を検討し、効率的な収集を行っているため。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	下水道の普及により汲取り世帯の減少が見込まれ、それに伴い委託料の縮減が図られるが、全世帯が水洗化しないかぎり、本事業を継続する必要がある。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）